

【第10回 英語】

日時：2020年01月17日（金）10:00~12:00

場所：東京藝術大学上野校地 中央棟第3講義室



Image: Ryohei Kan, 2014

「翻訳コンニャク」の実用化と海外での展覧会の機会は、あなたにとってどちらが先になるでしょうか。通年ゼミ「プレゼンテーション・スタディ」では、ポートフォリオ、プロポーザル、ステートメント、トークなどのトピックを通して、特にアーティストにとっての作品と言葉の関係について向き合ってきました。最終回にあたる本講座では、多くの日本人アーティストにとって悩みの種の一つである英語の問題について扱います。今日の社会のグローバル化において、世界の共通言語として汎用される英語の語学力の重要性がしばしば指摘されています。一方で、日本人は英語を苦手とする傾向があり、それはアートの現場においても同様であるでしょう。ここでは、日本を始めアジア出身のアーティストが英語でどのように作品を語っているのかという事例を紹介しながら、バイリンガルな視点で作品制作を行うための導入となる実践的な提案を行います。インターネット上で公開されているウェブコンテンツやスマートフォンのアプリを用いた英語の勉強方法も授業内で取り上げますので、英語に取り組むきっかけを探している学生の方はぜひ参加してください。英語によるコミュニケーション能力に基づいた、インターナショナルな創作活動のあり方について考えていきましょう。

【講座の年間プログラム予定】

- ① ポートフォリオ (6月)
- ② アーカイブ (7月)
- ③ プロポーザル 1 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ④ プロポーザル 2 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑤ プロポーザル 3 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑥ プロポーザル 4 (10月「非常勤レクチャーC」)
- ⑦ ステートメント (12月)
- ⑧ トーク (12月)
- ⑨ インターネットとソーシャルメディア (1月)
- ⑩ 英語 (1月)